



# 大きく咲かそう21世紀プラン

## —平成元年度予算の概要—

平成元年度の予算につきましては、『広報おだわら』四月一日号でその概要をお知らせしましたが、皆さんの貴重な税金などが、どのような仕事に使われるか、もう少し詳しく知っていただくため、『財政特集号』を編集しました。

市政についてご理解のうえ、今後とも、21世紀へ向けての本市のまちづくりにご協力をお願いします。

「歴史と文化の香る都市」づくりを目指す「おだわら21世紀プラン」の実施も本年度で四年目を迎え、その達成に向けて全速前進する時期となりましたが、計画実現の第一段階とも言べき予算編成は、

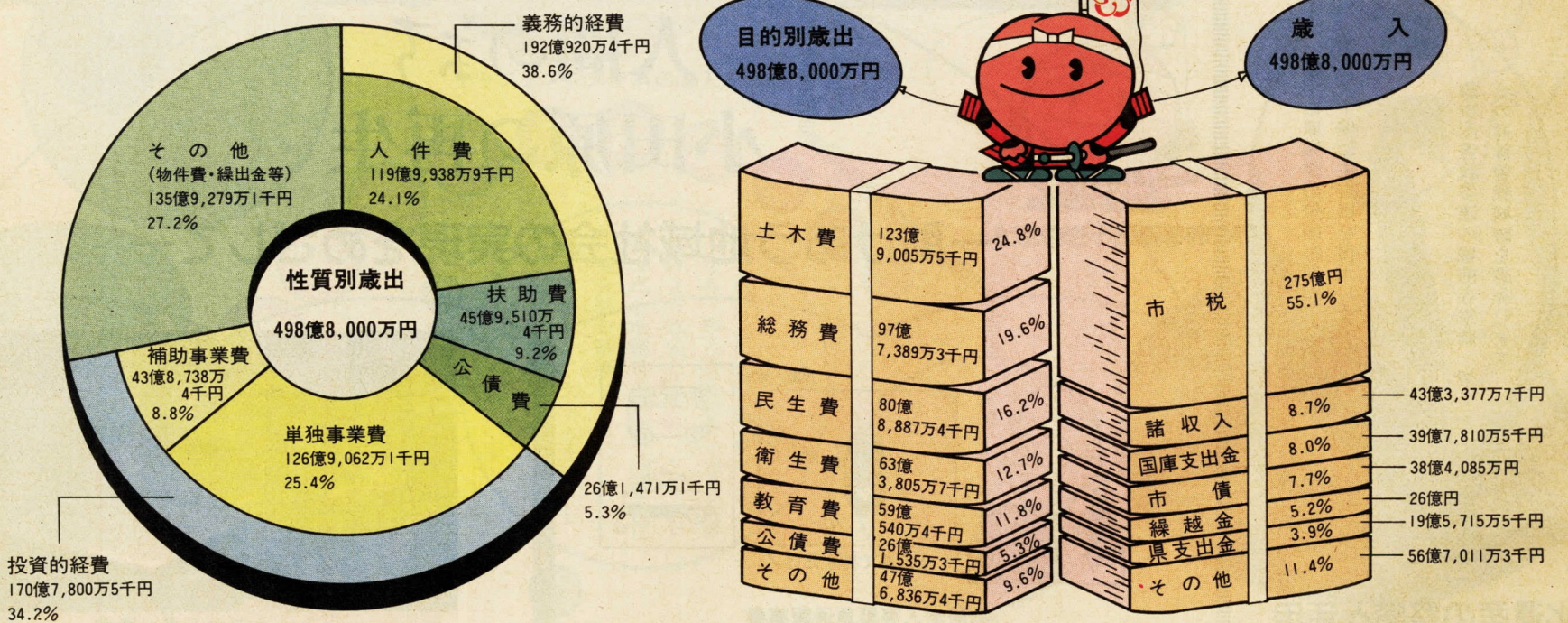
- ① 個性を生かした地域づくり
- ② 社会資本の充実
- ③ 心豊かな市民生活の実現

の三点を基本的な考え方として、全体的な調和を図りながら行いました。

その結果、総額では、全会計合わせて一千九十七億三千百四十四万四千円と初めて一千万円を超え、前年度に比べ十三・一パーセントの伸びとなり、そのうち一般会計は、四百九十八億八千万円で、伸び率は十四・九パーセントと近年にない積極型予算となりました。また、将来の市民のストック（資産）づくりとも言えます投資的経費は下図のように、構成比で三十四・二パーセントを占め、市庁舎を建設した昭和五十年度に次ぐ高いものとなりました。

主な事業は、二面と三面でご紹介します。

## 一般会計予算の構成







国指定文化財相模人形芝居

交流と文化活動の推進

- 関東学院大学の開設に対して助成します。
- 図書館整備検討委員会を設置して、将来を見通した図書館のあり方を検討します。

小田原の

- 下曾我小学校の校舎改築が完了するとともに曾我小学校にプールを建設します。
- 年次計画により小・中学校にコンピュータを導入して情報教育を推進することとし、本年度は前羽小学校と泉中学校を予定しています。
- 外国人講師による英語などの授業を行い国際交流教育を進めることとし、本年度は城山・白山。



楽しい学校給食へ(食器改善)

- 小田原城跡の整備を進め、二の丸中堀に住吉橋を復元します。
- 市内曾我谷津の城前寺東側一帯の通称曾我城跡を調査します。
- 歴史的町名を保存するため、三十箇所に標柱を設置します。

環境と文化遺産の整備と活用

自然環境の保全と活用



レクリエーション空間の創造

- 塔ノ峰青少年の家のバンガローを増設します。
- 寿町五丁目の酒匂川右岸堤防を利用して緑道公園を整備します。
- ふるさとみどり基金の利子を活用して、新築記念樹の配布や市街地沿道の緑化等、みどりの普及を推進します。

- 三十メートル級のはしご付消防自動車を購入して、中高層建築物の火災に備えます。
- 辻村植物公園の整備が完了します。
- いこいの森の駐車場を改修します。



健康で安全な住環境の形成

- 休日急患診療所の内科・小児科の準夜間診療を開始します。
- 一歳児に新三種混合(麻しん・風しん・流行性耳下腺炎)予防接種を行います。



市民の健康づくり

- 平成二年度の完成を目指して、清掃工場を増設します。
- 自主防災組織の資機材整備費を助成します。
- 通学路沿いのブロック塀等の実態調査を実施します。

総合的な福祉政策の展開

- 民間の重度痴呆専用特別老人ホーム施設及びケアセンター事業施設の整備費を助成します。
- 高齢者保養費助成と、はり・灸・マッサージ施術費助成を拡大します。
- 社会福祉基金の利子を活用し、地域ふれあい運動を推進します。
- 心身障害者の地域作業所及び精神薄弱者の就労を受け入れる事業所に対して助成します。
- 上府中保育園の園舎を改築します。



- 在宅でたきりや痴呆性のお年寄りが、特別養護老人ホームに一時的に入所できるようにして、介護者の負担軽減とリフレッシュを図ります。

人間のまち 小田原の再生

一助けあう地域社会の実現をめざして一



独居老人等緊急通報事業



ケアセンター事業

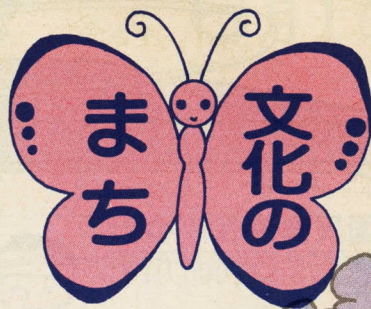




石垣山一夜城歴史公園の整備

### 総合的な産業政策の推進

- 都市型農業への転換と地域の活性化を図るため「梅の里づくり」「みかんの里づくり」事業を推進します。
- 荻窪、石垣山農道が完成します。
- 成田地区の工業団地を土地区画整理事業として整備するため、計画を策定します。
- 魅力ある商店街づくりを支援するため、共同施設のイメージプランを作成し、共同施設の設置や商店街のイベントを助成します。
- 用途地域の見直し等により、立地が不適当となる工場等の移転費をお貸しします。



- 生涯学習についての市民意識調査を実施し、研究委員会を開催します。
- ふるさと文化基金の利子を活用し、相模人形芝居などの民俗芸能をビデオに収録します。
- 市史編さん事業として、史料編・近世IIIを発刊します。

### 交通体系の確立

- 扇町荻窪線、栄町城内線、栄町小八幡線、東町久野線ほかの都市計画道路の整備を図ります。
- 風祭橋(早川)、山西橋(中村川)、宮前橋(酒匂堰)、上河原橋(久野川)を架け替えます。
- 駅周辺の放置自転車対策として、駐車場整備に努めます。

### 快適な都市基盤の整備

- 小田原駅東口お城通り地区の再開発事業を推進します。
- 上府中総合公園に建設中の野球場の年度内完成を目指します。
- 石垣山一夜城を歴史公園として整備します。
- 早川の取水施設を完成させ、お堀の水をきれいになります。
- 国際通り商店街周辺の整備計画を策定します。
- 豊川、東富水地区ほかの特定土地区画整理事業を促進します。
- 下曽我地区では、駅の東西連絡通路が完成します。
- 緑化の拠点として緑化センターを年次計画で整備するため、実施設計等を行います。
- 生活環境の改善と水質保全のため、下水道の主要幹線を延伸するほか、水洗化の普及に努めます。



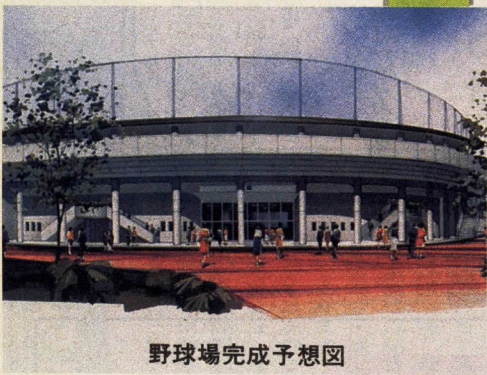
コンピュータの導入

アルマイト製の給食用食器を、耐熱ガラス製のものに順次取り替えます。

### 次代を担う 青少年の育成

●平成二年度から展開する「ときめき小田原まつり」の組織づくりや実施計画の策定に併せ、プレイベント等を実施します。

(この事業は、「ふるさと創生一億円事業」として行うものですが、本市は、地方交付税の不交付団体であるため、国から一億円は交付されません。)



野球場完成予想図



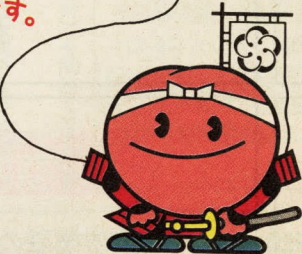
- 公文書の公開制度を開始します。
- 女性の自立と社会参加の機会の拡大を目指し、「婦人の集い」などを実施します。

キャプテンシステムの導入

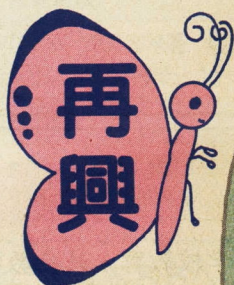
### 体制の推進

- 景勝・まつり・名産・まちなみ・郷土芸能の各十選を公募により選定します。
- 市民と市職員の共同で国際文化、英会話を研修します。
- キャプテンシステムを導入して、本市のPRに努めます。

梅丸で一す。

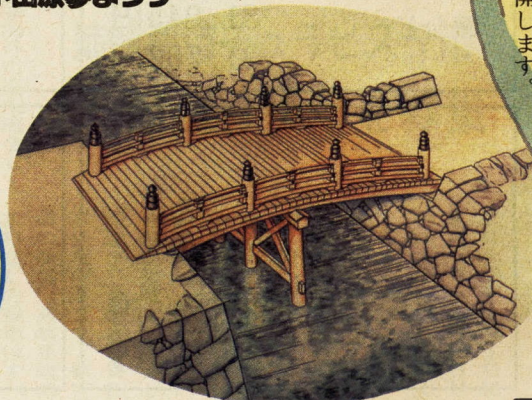


ときめき小田原まつり



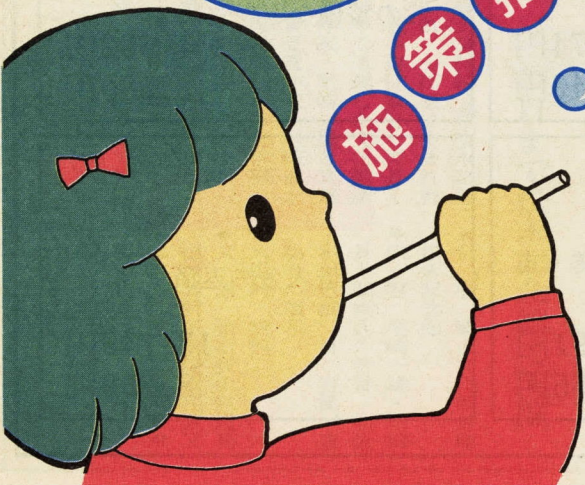
昭和六十二年度にスポーツ会館の前で発掘された「陣笠」を復元して来年度に公開します。

財政特集号についての  
お問い合わせは、財政課(☎331311)へ  
どうぞ。



住吉橋復元スケッチ

歴史的現





**国民健康保険会計**

(78億8,000万円)

加入者数 61,000人  
年間1人当たり平均医療費 123,557円  
年間1人当たり平均保険料 59,389円



**下水道会計**

(81億2,900万円)

処理原価(1㎡当たり) 156円  
使用料単価(1㎡当たり) 75円



**天守閣会計**

(1億2,200万円)

1日平均入場者数 1,329人  
入場料 大人 250円 小人 100円

**競輪会計**

(233億1,000万円)

競輪会計の収益金(27億円)は、土木費・教育費・下水道事業などの建設事業に使われます。



**公設地方卸売市場会計**

(2億5,850万円)

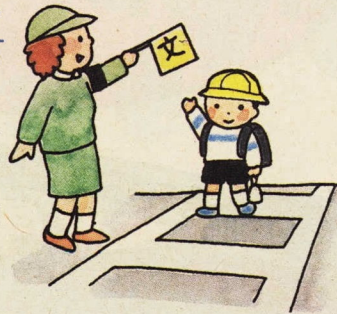
1日当たり平均取扱量  
青果物 159.3t  
水産物 70.1t



**交通災害共済会計**

(7,360万円)

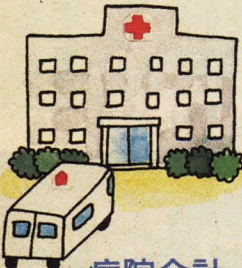
加入者数 152,960人  
加入率 80%  
1件当たり平均見舞金 94,500円



**国民健康保険診療施設会計**

(4,000万円)

1日平均患者数 19人



**病院会計**

(79億4,456万円)

1日平均患者数  
入院 399人  
外来 1,230人  
ベッド数 417床



**水道会計**

(43億7,609万円)

給水戸数 54,800戸  
普及率 96.2%  
給水原価(1㎡当たり) 113円  
供給単価(1㎡当たり) 123円

**片浦地区簡易水道会計**

(3億8,000万円)

片浦地区の簡易水道を公営化するため、本年度から施設の整備を進めます。



**老人保健医療会計**

(73億3,740万円)

対象者数 13,960人  
年間1人当たり平均医療費 541,222円  
年間1人当たり平均本人負担額 20,025円



特別会計のあらまし  
算出数字はすべて平成元年度予算に基づくものです。  
( )内は予算規模を示します。

**市民1人当たりの予算と市税の使いみち**

**総務費**

災害対策、住民登録、市庁舎の維持管理など

51,361円  
34,049円

**議会費**

市議会の運営費

2,024円  
1,633円

**説明**

市税収入は一般会計の全歳入の55%を占めています。そこで、この税がどのような目的にどのくらい使われる予定か、市民1人当たりには市民1人当たりの予算額そのうちに占める市税額

**農林水産業費**

農業・水産業の振興対策など

7,543円  
3,513円

**労働費**

勤労者の福祉向上など

483円  
82円

**衛生費**

健康対策、ごみ・し尿処理など

28,976円  
13,984円

**民生費**

老人・障害者・児童福祉、生活保護費など

36,268円  
12,489円

**教育費**

学校教育・社会教育施設の整備、文化財保護など

31,045円  
21,763円

**消防費**

消防施設の充実

9,111円  
6,766円

**土木費**

道路・公園・河川の整備など

55,174円  
24,946円

**商工費**

商工業・観光の振興、観光施設の整備など

4,692円  
2,580円

**合計**

262,225円  
144,571円

**その他**

予備費など

508円  
412円

**繰出金**

下水道の整備、国保事業・市立病院の運営など

特別・企業会計へ 21,291円  
13,585円

**公債費**

借入金の返済

13,749円  
8,769円